

インマヌエル中目黒キリスト教会

2014年3月9日聖日礼拝

使徒の働き連講②⑤

「バルナバが居なかったら」

使徒の働き 9章

20－30節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 9章20 – 30節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp225~/ 第三版の聖書はp245~

20 そしてただちに、諸会堂で、イエスは神の子であると宣べ伝え始めた。

21 これを聞いた人々はみな、驚いてこう言った。「この人はエルサレムで、この御名を呼ぶ者たちを滅ぼした者ではありませんか。ここへやって来たのも、彼らを縛って、祭司長たちのところへ引いて行くためではないのですか。」

- 22 しかしサウロはますます力を増し、イエスがキリストであることを証明して、ダマスコに住むユダヤ人たちをうろたえさせた。
- 23 多くの日数がたって後、ユダヤ人たちはサウロを殺す相談をしたが、
- 24 その陰謀はサウロに知られてしまった。彼らはサウロを殺してしまおうと、昼も夜も町の門を全部見張っていた。

- 25 そこで、彼の弟子たちは、夜中に彼をかごに乗せ、町の城壁伝いにつり降ろした。
- 26 サウロはエルサレムに着いて、弟子たちの仲間に入ろうと試みたが、みなは彼を弟子だとは信じないで、恐れていた。

- 27 ところが、バルナバは彼を引き受けて、使徒たちのところへ連れて行き、彼がダマスコへ行く途中で主を見た様子や、主が彼に向かって語られたこと、また彼がダマスコでイエスの御名を大胆に宣べた様子などを彼らに説明した。
- 28 それからサウロは、エルサレムで弟子たちとともにいて自由に出はいりし、主の御名によって大胆に語った。

- 29 そして、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちと語ったり、論じたりしていた。しかし、彼らはサウロを殺そうとねらっていた。
- 30 兄弟たちはそれと知って、彼をカイザリヤに連れて下り、タルソへ送り出した。

説教

使徒の働き連講②⑤

「バルナバが居なかったら」

使徒の働き 9章20－30節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「バルナバは彼を引き受けて、
使徒たちのところへ連れて行き、
彼がダマスコに行く途中で主を見た様子や、
主が彼に向かって語られたこと、
また彼がダマスコでイエスの御名を大胆に
宣べた様子などを彼らに説明した。」

(使徒9:27)

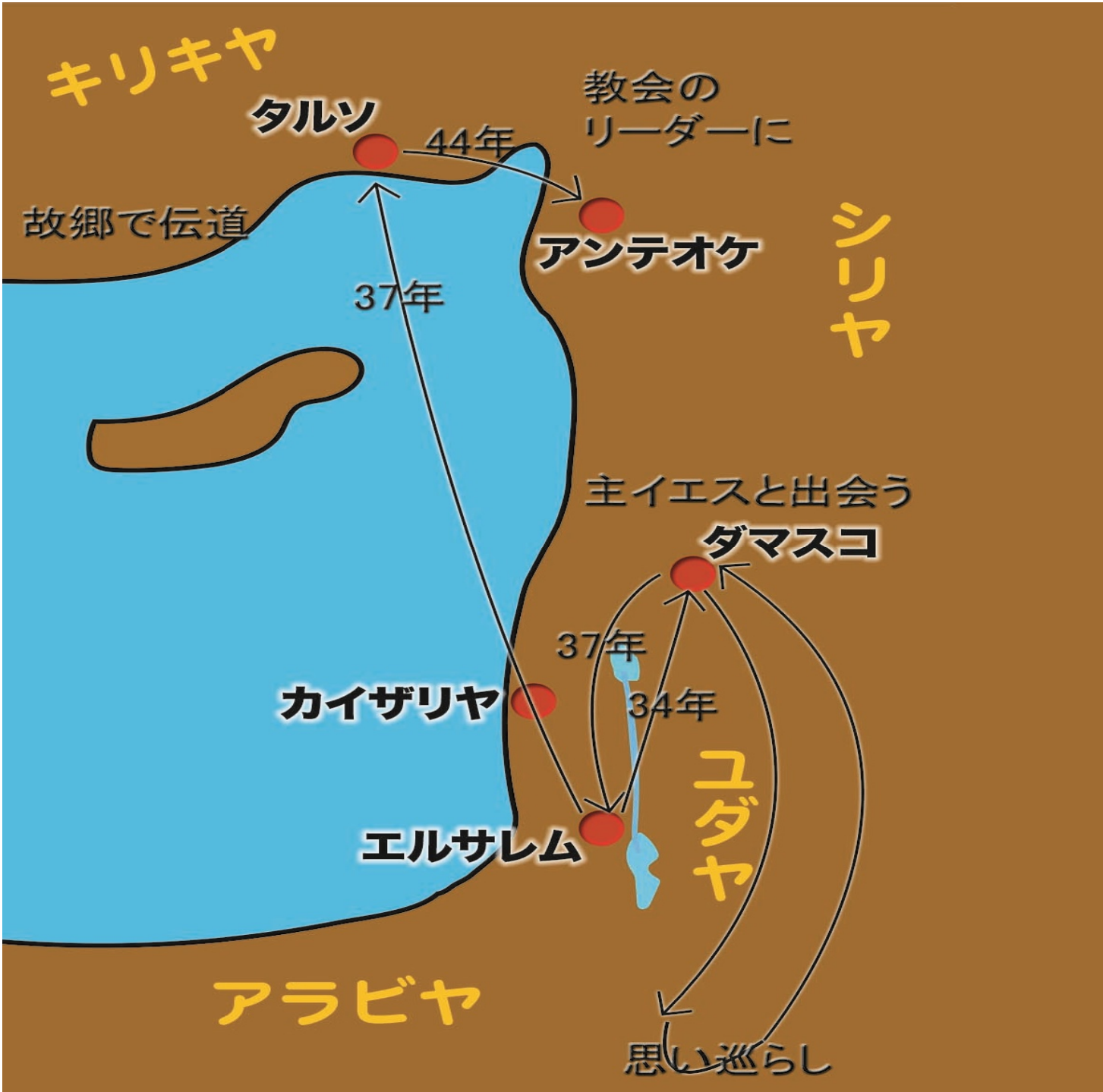
前回：サウロの目からうろこ(18節)

A. ダマスコで宣教するサウロ(20－25節)

1. サウロの宣教開始：「イエスは『神の子』
(メシヤ)」
2. 反対者たちの狼狽
(6:10=ステパノの時のよう)

3. サウロ殺害計画

- アラビヤ行きが、この間に入る
(ガラテヤ1:17、地図参照)
- ユダヤ人たちの陰謀と見張り
- アレタ王の代官も陰謀に加担
(2コリント11:32-33)
- サウロの脱出(写真参照)



ダマスカス旧市街南東のバブ・キサン 門（現在はパウロ記念教会）



B. エルサレムでのサウロの宣教 (26－30節)

1. サウロのエルサレム訪問

- 目的: ペテロに会うため
(ガラテヤ1:18)、信徒と交わるため

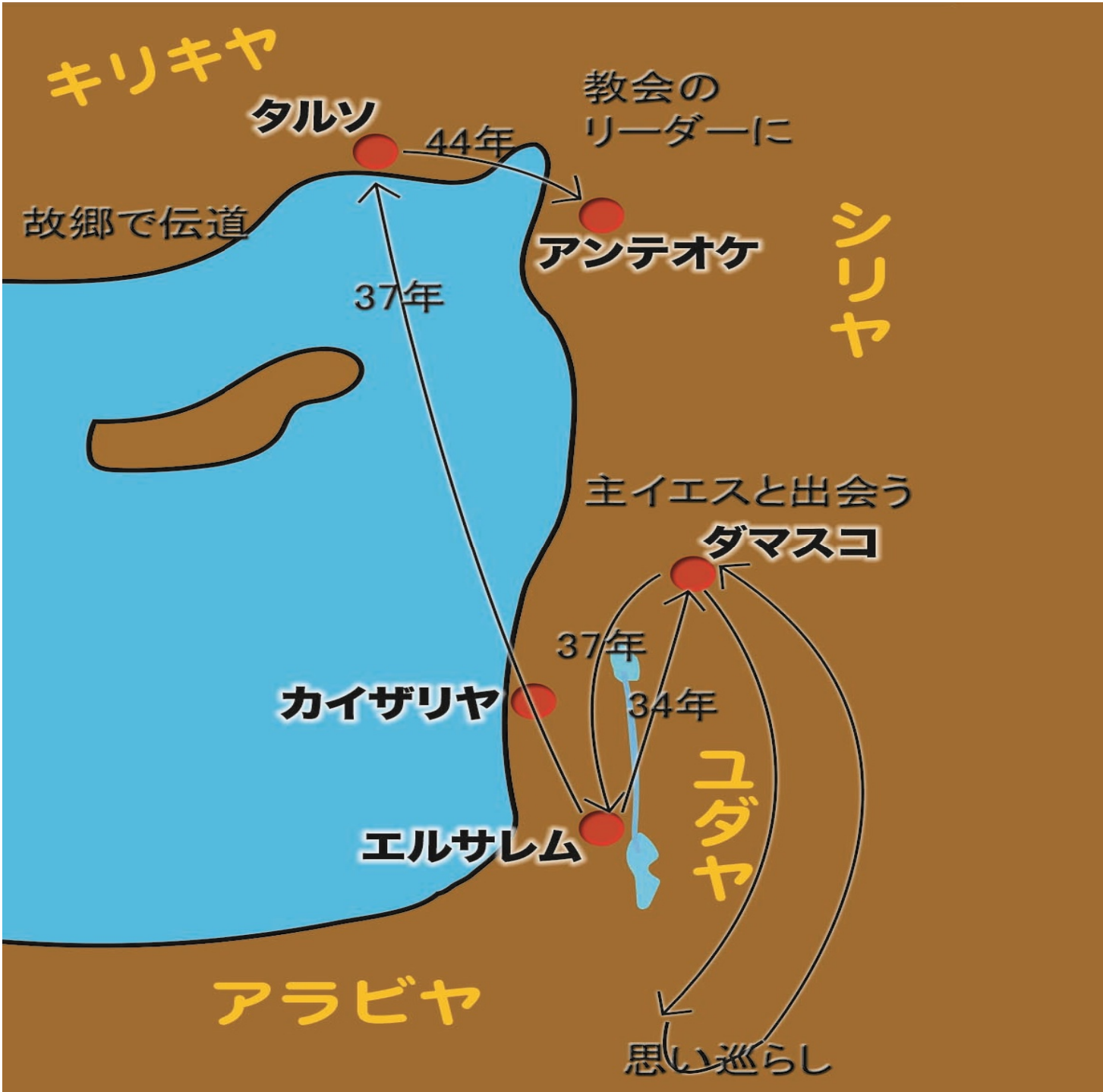
- 孤立してしまうサウロ

2. バルナバのとりなし

- 慰めの子バルナバ(4:36)
- サウロから話を聞く
- 使徒たちに取り次ぐ
- サウロが仲間に入る

3. サウロへの殺害計画

- サウロの伝道、特にヘレニスト・ユダヤ人に
- ヘレニスト・ユダヤ人がサウロを殺そうとする
- 仲間がサウロ脱出を助ける(地図参照)
- タルソで郷里伝道(ガラテヤ1:21-24)



おわりに

バルナバの役割に目を留める

- 孤独な新入りクリスチャン・サウロを仲間に紹介
- (7年後) サウロをアンテオケ教会牧師にリクルート(→世界宣教へ)
- 献身ドロップアウトのマルコを回復(15:37、2テモテ4:11)
- 私たちも、誰かにとって「バルナバ」となろう